

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



バーベキューをしました!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力いつもありがとうございます。

2023年10月からガザ地区で戦闘を続けてきたイスラエルとハマスが、今月19日から6週間の停戦に合意しました。人質の解放も名言されているようですが、どうなるか予断は許さない状態です。しかし、多くの人たちの間に歓迎ムードが漂っていることは確かのようにです。停戦ではなく、このまま戦闘の終結になれば、と思いますが、まだまだ難しいようです。

あまり報道されてはいませんが、今回の戦闘では多くの子供達が犠牲になり、停戦となっても、子供達を取り巻く環境は大変厳しいようです。この時代、イスラエルとハマスの戦闘以外にも、大変厳しい環境の中にいる子供達の数は増加するばかりです。どうすればそのような環境の中にいる子供達を助けることができるか、本当に思案するところです。ただ、皆様と共に、一人でも多くの子供達を助けることができれば、と思っております。また話は変わりますが、私共の各孤児院からは切実なる思いで運営費の増額を訴えてきております。物価の値上げは日本だけでなく、世界各国でも懸念するところのようです。

どうかこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。12月に入って孤児達に関する情報が入って来たので、スタッフに状況を見に行ってもらいました。両親はすでに亡くなっていて、孤児となった子ども達は9歳の姉Lと6歳の弟VDの2人で、ご年配の親戚の方々には養育は難しい状況だとわかりました。スタッフと共に彼らのいる地方を訪れて、政府機関の方々や親戚の方々にお会いして、具体的に受入れの為の手続きを行うことが出来ました。ほとんど学校に行ったことがなく、またお姉ちゃんの方が感染症に感染していることがわかっていたので、その為の対応を取り始めた途端、孤児院にいる子どもの1人がおたふく風邪に感染してしまい、Lにもうつり入院ということになってしまいました。しかし、病院でのいろいろな検査や治療を受ける良い機会となり、5日間入院して元気に退院して戻ってくる事が出来ました。しばらくは孤児院の生活などに慣れることを目標に置いて、それから学校への手続きを始めたいと思っています。2人の為のご支援とご協力を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。



孤児院の子ども達ともすっかり仲良くなってきているL(写真左)とVD(その横座っている)の2人

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。たくさんのご支援を頂き、1月に無事新学期を迎える事ができました。心より感謝申し上げます。昨年は、国家試験を受けた7年生16人全員が、無事に合格するという快挙を成し遂げました。私たちの学校は、学校に行けてなかった極貧の子ども達を受け入れているため、学習が非常に遅れている子が大半で、特に読み書き、算数に四苦八苦しています。受験に向けた授業でも、「質問の単語が読めない」、「意味が分からない」など、受験日間近になっても担当先生から「おそらく半分位しか受からないだろう」と言われていたので、全員合格の報に、嬉しい悲鳴が上がりました。新8年生は、2月から授業が始まります。昨年開校した中高等学校は、これからますます賑やかになりそうです!そしてまた、パートナーシップを提携したフランス人学校から、先生達がボランティアでフランス語、アート、スポーツを教えに来てくれる事になっています。2025年を迎え、これから子ども達が世界に飛び出していける事を目指して、ますますこの一年頑張りますので、皆様のご支援とご協力を引き続きお願いします!



10年生(高1)達。ご寄付で頂いた教材と共に

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

この冬休みはあわただしく過ぎて行きました。ご報告が遅くなりましたが、2024年~2025年の学期の必要(\$8,164.90)の75%が満たされ、東京事務局から送金して頂くことが出来ました。フィリピンの就学支援生を支えて下さっている皆様のご支援に心から感謝致します。学校への支払い、通学に必要な靴や学用品も徐々に買い揃えることが出来ています。子どもたちの喜びに満ちた美しい笑顔は、先日突然主人を亡くした私の心を深く慰めてくれました。東京事務局のスタッフや、皆様から慰めや励ましの言葉を頂いてとても強められています。また今年こそは必要額が与えられて、各地を回るための車を購入したいと願っています。是非このためにもご支援頂ければ幸いです。引き続きフィリピンの子どものために皆様のお暖かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



通学に必要な靴や学用品を届けました

松本弘子さんのイラスト



火を起こして鍋で料理するザンビアの男子